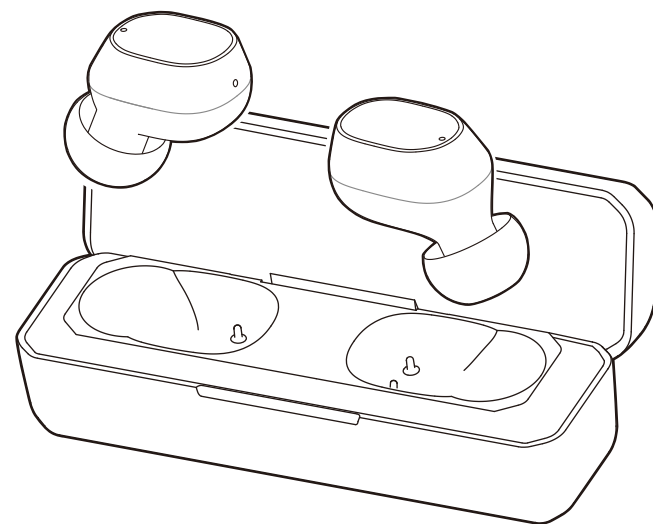


ONKYO[®]

IE-FBK

ワイヤレスステレオヘッドホン



 **Bluetooth**[®]

取扱説明書

このたびは、オンキヨー製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」を最後までお読みのうえ、「安全上のご注意」に従い正しくお使いください。

本機でできること

- ・ 外音取り込みモードを使う
P.6をご参照ください。
- ・ 音楽を聞く
P.7をご参照ください。
- ・ 通話する
P.8をご参照ください。
- ・ 音声アシスト機能を使う
P.9をご参照ください。

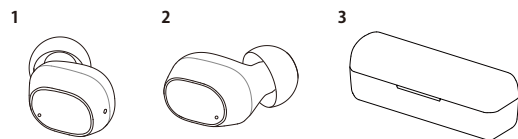
用語解説

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) : 高音質な音楽コンテンツを送受信するプロファイル
HSP (Headset Profile) : 通話/携帯電話を操作するプロファイル
HFP (Hands-Free Profile) : ハンズフリーで通話/携帯電話を操作するプロファイル
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) : AV機器をリモートコントロールするプロファイル

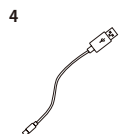
1. 部品の構成

本製品をお使いになる前に、すべて揃っているか確かめてください。

- 1: ヘッドホン L側 (ホスト)
- 2: ヘッドホン R側 (サブ)
- 3: 充電ケース



4: TYPE-C USB ケーブル

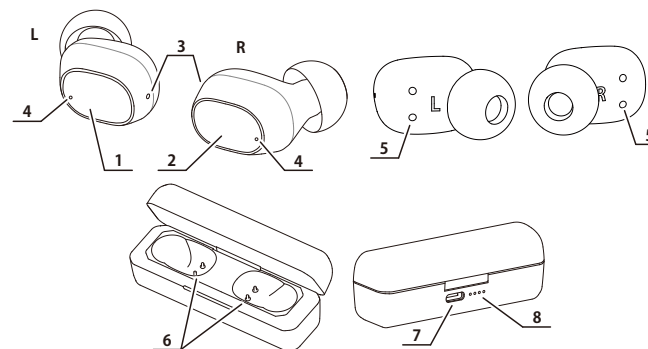


5: イヤホンチップ S、L 各2個
(Mサイズは工場出荷時に本体に取付け)



- 6: 保証書
- 7: 取扱説明書

2. 各部の名称



- 1: L 側 マルチファンクションボタン
- 2: R 側 マルチファンクションボタン
- 3: 本体側LEDインジケーター
- 4: マイク
- 5: 本体側充電端子
- 6: 充電ケース側充電端子
- 7: TYPE-C USB ポート
- 8: 充電ケース側LEDインジケーター

3. ボタン操作

L 側マルチファンクションボタン

- 電源 ON/OFF
- 外音取り込みモード ON/OFF
- 曲戻し
- 音声アシスタント起動

着信・通話時

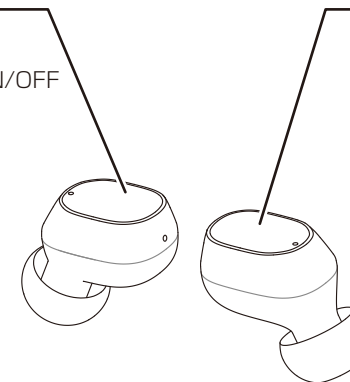
- 受話 / 終話
- 着信拒否

R 側マルチファンクションボタン

- 電源 ON/OFF
- 音楽再生 / 停止
- 曲送り

着信・通話時

- 受話 / 終話
- 着信拒否



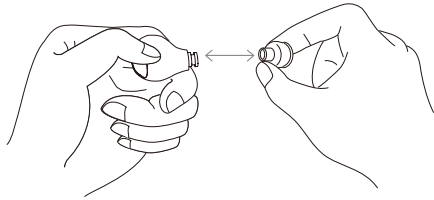
4. イヤホンチップの交換のしかた

<取り付け方>

イヤホンチップのスカート部をイラストのように裏返します。



取り付け部をノズルにしっかり押し込みます。押し込みが不完全ですとイヤホンチップが外れることがありますのでご注意ください。



裏返したスカート部を元に戻します。

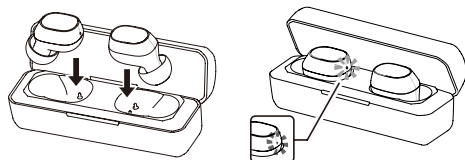
<取り外し方>

イヤホン本体を押さえイヤホンチップをねじりながら外します。

5. 充電する

ご使用になる前に、本機を充電する必要があります。
充電には付属のTYPE-C USBケーブルをご使用ください。

- ヘッドホン(本体)L,Rを充電ケースにセットし、本体側の赤色LEDが点灯することを確認します。赤色LEDが点灯すると本体の充電が始まり、電源は自動でOFFになります。充電が完了すると本体のLEDインジケーターが消灯します。



- 充電ケースを開け、付属のTYPE-C USBケーブルを充電ケースに接続し、もう一方のUSBプラグをパソコンのUSB端子に接続します。

ケーブルを接続する際は、ケースが開かないように抑えながら端子に対してまっすぐさしてください。

- 充電が始まると充電ケース側の白色LEDが点滅します。

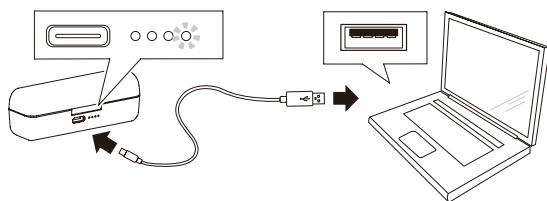
充電ケースへの充電は約1.5時間で完了し、白色LEDが4つ点灯したら満充電です。

本体の充電は約1時間で完了し、赤色LEDが消灯したら満充電です。

充電ケースに本体を入れた状態で充電すると、最大で約2.5時間かかる場合もあります。

電池の充電残量が少なくなると、本機から約60秒ごとに音が鳴り、LEDインジケーターが赤く点灯します。その際は、本機を使用する前に充電してください。

※充電時間や使用時間は温度環境や使用頻度により異なる場合があります。



- 本体を充電ケースへセットしている場合に、充電ケースの充電残量が無くなると、本体が自動的にBluetooth機器に接続される場合がありますのでご注意ください。
- 充電ケースの充電残量が無い場合は、本体を充電ケースにセットしても電源が切れません。充電ケースの電池残量にはご注意ください。

<外出先で本機を充電する>

充電ケースには充電式電池が内蔵されています。

充電ケースを充電しておくと、外出先などで電源がない場合も本体を充電できます。

充電ケースが満充電の場合には約2回の充電が可能です。

ご注意

- 充電する前には必ず本機を乾いた布などで拭き、乾いた状態で入れてください。
- 充電中は本機を使用できません。
- 充電温度範囲内(5℃～40℃)で充電を行ってください。
- 充電する際は必ず付属のTYPE-C USBケーブルを使用してください。付属以外のケーブルを使用すると故障の原因となります。
- パソコンが省電力モードになると充電できません。
- TYPE-C USBケーブルは、コネクタの向きや形状をよく確認してから接続してください。
- TYPE-C USBケーブルを折ったり束ねたりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 長期間ご使用にならない場合は、湿度が高い場所や温度が高い場所(自動車の中や直射日光が当たる場所)を避けて保管してください。充電電池の劣化を早め、使用可能時間の低下の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならない場合は、1時間程度充電してから保管してください。満充電の状態や充電がない状態での長期保管は、充電電池の劣化を早め、使用可能時間の低下の原因となることがあります。
- 充電中に充電ケースを開けるとコードが引っ張られ、断線や故障の原因となります。充電ケースは必ずコードを外してから開けてください。
- 充電端子のプラグは奥までしっかり差し込んでください。挿入が不完全な場合、充電できないなど不具合の原因となります。
- 外音取込みモードの状態では充電ケースに入れると、ピーという音(ハウリング)が聞こえる可能性があります。故障ではありません。

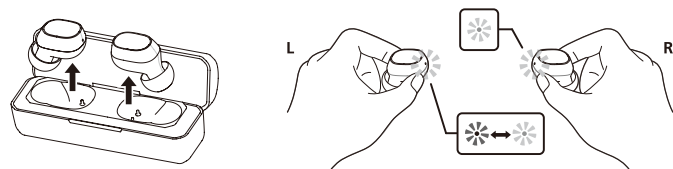
6. ペアリングする

本機で、Bluetooth 機器の音楽を聞いたり通話するには、事前にペアリングを行う必要があります。
ペアリングの方法は、ご使用の Bluetooth 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ペアリング操作の前に一度イヤホンL,Rを充電ケースに入れ、イヤホンの赤色LEDが点灯するのを確認してください。

<本機を初めて使用する場合>

(1) 充電ケースからL,Rのイヤホン（本体）を取り出します。



(2) イヤホンL側はLEDインジケーターが白色と赤色の交互の点滅となり、ペアリングモードに入ります。

- イヤホンR側は自動でイヤホンL側とペアリングし、白色LEDが5秒程度の間隔でゆっくりとした2回点滅になります。
- 近くに他の接続機器があると、イヤホンL,Rのペアリングができません場合があります。
- イヤホンのLEDインジケーターの点滅が異なる場合は、<2台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする場合>を行ってください。

(3) 相手側 Bluetooth 機器の電源を入れてペアリング操作を行い、本機を検索します。

- 相手側 Bluetooth 機器は、本機の近く（1 m以内）に置いてください。
- 本機は、相手側 Bluetooth 機器の画面に「Onkyo IE-FBK」と表示されます。

(4) 相手側 Bluetooth 機器がペアリングされたことを確認します。

- 相手側 Bluetooth 機器の画面に表示されている「Onkyo IE-FBK」を選択します。
- 白色LEDが5秒程度の間隔でゆっくりとした2回点滅になったらペアリング完了です。

<2台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする場合>

(1) 充電ケースからL,Rのイヤホン（本体）を取り出します。

(2) イヤホンL,R どちらかのマルチファンクションボタンを、赤色LED が点灯し消灯するまで長押しし、電源を切ります。

- どちらかの本体を操作すると、L,R 両方の電源が切れます。

(3) イヤホンL側のマルチファンクションボタンをペアリングモードになるまで押します。

- LED ランプが白色と赤色の交互に点滅した状態がペアリングモードです。
- 交互に点灯したらマルチファンクションボタンを離してください。

(4) イヤホンR側のマルチファンクションボタンを白色LED が点灯、点滅するまで押します。

- イヤホンR側は自動でイヤホンL側とペアリングし、白色LEDが5秒程度の間隔でゆっくりとした2回点滅になります。
- 近くに他の接続機器があると、イヤホンL/Rのペアリングができません場合があります。

以降は<本機を初めて使用する場合>の手順3、4を行ってください。

接続がうまくいかない場合や、LEDインジケーターの点灯・点滅が正しくない場合は、一度本機をリセットしてください。

<リセットのしかた>

(1) 充電ケースからL,Rのイヤホン（本体）を取り出します。

(2) イヤホンL,R どちらかのマルチファンクションボタンを、赤色LED が点灯し消灯するまで長押しし、電源を切ります。

- どちらかの本体を操作すると、L,R 両方の電源が切れます。

(3) イヤホンL,Rのマルチファンクションボタンを電源が切れるまで同時に長押しします。

- イヤホンL,Rのボタンを長押しすると、電源が入り、L側のみ5秒間程度 白色と赤色のLEDが交互に点滅し、その後L,Rともに白色と赤色のLEDが同時に2回点滅し電源が切れ、リセット完了です。リセットを行うとペアリング情報は消去されますので、お使いの Bluetooth 機器とのペアリングを再度実行してください。

<イヤホンL,Rの再ペアリング>

リセット完了後、電源が切れている状態から、イヤホンL,Rの両方のマルチファンクションボタンを白色LEDが点灯するまで押します。

しばらくすると、イヤホンL側のLEDインジケーターが白色と赤色の交互に点滅し、イヤホンR側は白色LEDが5秒程度の間隔でゆっくりとした2回点滅になります。

これでL,Rのペアリングは完了です。お使いの Bluetooth 機器とのペアリングを再度実行してください。

Bluetooth 機器と接続する

- 充電ケースからL,Rのイヤホンを取り出し、相手側 Bluetooth 機器で接続操作をします。充電ケースからイヤホンを取り出すと自動で電源が入り白色LEDが点滅します。
- 機器によってはペアリング完了後、自動的に接続される場合があります。

Bluetooth 機器との接続を切断する

- イヤホンを充電ケースにセットすると自動で電源がOFFになります。
- イヤホンL,R どちらかのマルチファンクションボタンを、赤色LEDが点滅するまで押し、電源を切ることも可能です。

ご注意

- 一部の Bluetooth 機器におきまして、本製品とのペアリング時にボリュームが最大となることがあります。ペアリング作業は必ず手に持った状態で行ってください。耳へ挿入した状態で行うと、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。ペアリング後は Bluetooth 機器側でボリュームを下げた状態で装着し、音量を調整してください。
- 機器によっては音楽再生時にはA2DP、ハンズフリー使用時にはHFPまたはHSPを指定して接続する必要があります。
- 操作 / 設定方法は各 Bluetooth 機器の取扱説明書をご参照ください。
- 機器と接続できなくなってしまったときは再度ペアリングを行ってください。
- 本機は8台分の Bluetooth 機器のペアリング情報を登録できます。9台目の機器とペアリングすると、最初に登録した機器のペアリング情報が消去されます。消去された機器と本機を再接続する場合は再度ペアリングを行ってください。
- ペアリングした機器を使用するときは、本機の電源を入れたあと、ペアリング相手の Bluetooth 機器側で接続操作を行うだけで使用できます。

7. 外音取り込みモードの使い方

本機はノーマルモードと外音取り込みモードを切り換えることができます。

外音取り込みモード

音楽の音量を下げて周囲の音を取り込み、聞き取りやすくする機能です。

モードの切替え方

充電ケースからL,Rのイヤホンを取り出し、相手側 *Bluetooth* 機器で接続操作をします。

充電ケースからイヤホンを取り出すと自動で電源が入り白色LED が点滅します。

※ 機器によってはペアリング完了後、自動的に接続される場合があります。

自動的にノーマルモードになります。

モードはイヤホンL側のマルチファンクションボタンを1回押すたびに切り換わります。

音楽再生中に外音取り込みモードに切り替えると、音楽の音量が自動で下がります。

着信時および通話時は自動でノーマルモードに切り替わり、通話が終了すると外音取り込みモードに戻ります。



ご注意

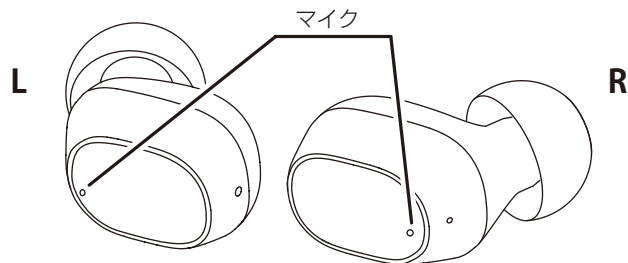
イヤホンL側のマルチファンクションボタンを長押しすると電源が切れます。

本機は前回使用時のモードを記憶しません。再度電源を入れると、自動的にノーマルモードになります。

<外音取り込みモード使用時のご注意>

- 外音取り込みモードを使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、本機を使用しないでください。
- 本機がしっかりと装着されていないと、外音取り込みモードが正常に動作しない場合があります。本機をしっかりと装着してください。

本機のマイクの穴を指などで覆わないでください。外音取り込みモードの効果が得られなくなったり、ピーという音(ハウリング)が出たりすることがあります。このような場合はマイク部から指などを離してください。



外音取り込みモードの状態では充電ケースに入れると、ピーという音(ハウリング)が聞こえる可能性があります。故障ではありません。

8. 音楽を聞く

本機で音楽を聞くには、事前にご使用の *Bluetooth* 機器とオーディオプロファイルA2DPでペアリングする必要があります。
ペアリング操作方法はP.5をご参照ください。

(1) 充電ケースからヘッドホン(本体)L,R を取り出します。

(2) 相手機器の *Bluetooth* 機能をONにします。

- ペアリングが完了していると自動で接続されます。
- ※ 自動的に接続しない場合や異なる *Bluetooth* 機器と接続される場合は、相手機器を操作して接続してください。

音楽再生の操作

相手側 *Bluetooth* 機器がAVRCPに対応しているときは本機側で以下の操作ができます。
ボタンの操作方法はP.2をご参照ください。

- L側マルチファンクションボタン
 - 2回押し：曲またはチャプターの頭に戻ります。
- R側マルチファンクションボタン
 - 1回押し：再生または一時停止します。
 - 2回押し：次の曲または次のチャプターに進みます。
- ※ 音量調節は相手側 *Bluetooth* 機器で行ってください。
- ※ 一部の *Bluetooth* 機器におきまして、本製品とのペアリング時にボリュームが最大となる場合があります。
ペアリング後は *Bluetooth* 機器側でボリュームを下げた状態で装着し、音量を調整してください。
- ※ 相手側 *Bluetooth* 機器の仕様によっては上記操作、および相手機器での操作ができない場合があります。
- ※ 相手側 *Bluetooth* 機器の仕様によってはワンセグの選局ができない場合や、音声が届かない場合があります。ご使用の *Bluetooth* 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ※ 相手側 *Bluetooth* 機器の仕様によっては音楽再生用の設定が必要になる場合があります。ご使用の *Bluetooth* 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ※ 相手側 *Bluetooth* 機器の仕様によっては音楽再生用のアプリが自動で起動する場合や、一時停止/再生ができない場合があります。ご使用の *Bluetooth* 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

9. 通話する

本機で通話するには、事前にご使用の *Bluetooth* 機器とハンズフリープロファイルHFPまたはHSPでペアリングする必要があります。
ペアリング操作方法はP.5をご参照ください。
※HFP、HSP両方のプロファイルに対応している場合は、HFPで接続してください。

(1) 充電ケースからヘッドホン(本体)L,Rを取り出します。

(2) 相手機器の *Bluetooth* 機能をONにします。

- ペアリングが完了していると自動で接続されます。
- ※ 自動的に接続しない場合や異なる *Bluetooth* 機器と接続される場合は、相手機器を操作して接続してください。

通話時の操作

相手側 *Bluetooth* 機器がAVRCPに対応しているときは本機側で以下の操作ができます。
ボタンの操作方法はP.2をご参照ください。

- 着信時1回押し：通話します。もう一度押すと通話を終了します。
- 着信時2回押し：着信を拒否します。
- ※ L側、R側どちらのマルチファンクションボタンでも操作することができます。

音楽を聞いているときに着信があった場合も同じように操作します。
外音取り込みモード時に着信、通話をするると自動でノーマルモードに切り換わり、終了すると外音取り込みモードに戻ります。

- ※ 音量調節は相手側 *Bluetooth* 機器で行ってください。
- ※ 一部の *Bluetooth* 機器におきまして、本製品とのペアリング時にボリュームが最大となることがあります。
ペアリング後は *Bluetooth* 機器側でボリュームを下げた状態で装着し、音量を調整してください。
- ※ 相手側 *Bluetooth* 機器の仕様によっては上記操作、および相手機器での操作ができない場合があります。
- ※ 相手側 *Bluetooth* 機器の仕様によっては通話用の設定が必要になる場合があります。ご使用の *Bluetooth* 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

10. 音声アシスト機能を使う

<Google アプリを使う>

Android スマートフォンなどに搭載されている Google アプリを起動して、本機のマイクから声で操作することができます。

(1) アシストと音声入力の選択を Google アプリに設定します。

- Android スマートフォンで[設定] - [アプリ]で表示した画面の右上にある歯車アイコンを選択します。
[既定のアプリ] - [アシストと音声入力]の順に選び、[アシストアプリ]を Google アプリに設定します。
上記操作は一例です。詳しくは、相手側 *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご覧ください。
- ※ ご使用には最新版の Google アプリが必要な場合があります。
Google アプリについての詳細は、相手側 *Bluetooth* 機器の取扱説明書や GooglePlay ストアのウェブページをご覧ください。
- ※ 相手側 *Bluetooth* 機器の仕様によっては、ヘッドセットからの Google アプリの起動に対応していない場合があります。

(2) 本機を相手側 *Bluetooth* 機器に接続します。

- 接続の方法は「6. ペアリングする」をご参照ください。

(3) Googleアプリを起動します。

- 相手側 *Bluetooth* 機器がスタンバイ状態または音楽再生中に、L側のボタンを3回押すとピープ音がなり、Google アプリが起動、アプリ起動音が聞こえます。
本機のマイクを通して音声入力が可能です。
Google アプリ起動後に一定時間たつと、ピープ音が鳴り、音声入力が解除されます。
- L側マルチファンクションボタン
●●● 3回押し：音声アシスト機能の起動
- ※ 相手側 *Bluetooth* 機器の仕様によっては上記操作、および相手機器での操作ができない場合があります。

<Siri を使う>

iPhone などに搭載されている Siri を起動して、本機のマイクから声で操作することができます。
Siri 使用時の相手側 *Bluetooth* 機器からの音声はL側からのみ聞こえます。

(1) Siri を有効にします。

- iPhone で[設定] - [Siri と検索]の順に選択し、Siri をオンにします。
上記操作は一例です。詳しくは、相手側 *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご覧ください。
- ※ Siri の詳細については、相手側 *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご覧ください。

(2) 本機を相手側 *Bluetooth* 機器に接続します。

- 接続の方法は「6. ペアリングする」をご参照ください。

(3) Siri を起動します。

- 相手側 *Bluetooth* 機器がスタンバイ状態または音楽再生中に、L側のボタンを3回押すと Siri が起動し、起動音が聞こえます。
本機のマイクを通して音声入力が可能です。
Siri 起動後に一定時間たつと、ピープ音が鳴り、音声入力が解除されます。
その他 Siri と連携しているアプリなどについての詳細は、相手側 *Bluetooth* 機器の取扱説明書をご覧ください。
- L側マルチファンクションボタン
●●● 3回押し：音声アシスト機能の起動
- ※ 相手側 *Bluetooth* 機器の仕様によっては上記操作、および相手機器での操作ができない場合があります。

11. LEDランプについて

<イヤホン本体>

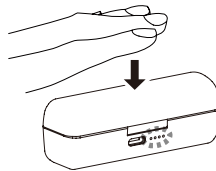
動作	LEDインジケータ
Bluetooth 機器と接続していない状態	白色LEDが1秒ごとに3回点滅
ペアリングモード	赤色LEDと白色LEDが交互に点滅
Bluetooth 機器と接続している状態	白色LEDが5秒ごとに2回点滅
充電中	赤色LEDが点灯

<充電ケース>

動作	LEDインジケータ
充電中	白色LEDが1秒ごとに1回点滅
満充電(電池残量 100%)	白色LEDが4つ点灯
電池残量 75%程度	白色LEDが3つ点灯
電池残量 50%程度	白色LEDが2つ点灯
電池残量 25%程度	白色LEDが1つ点灯

<電池残量の確認>

- 充電ケースの電池残量は、充電ケースを軽くタップすることでLEDが点灯し確認できます。



- 強い力を与えたり、強い衝撃を与えると機器の外観・性能を損ねたり、故障や破損の原因となります。
- LEDが点灯しない場合は充電残量がありませんので、充電してください。充電の方法はP.4をご参照ください。

12. 通知音について

操作	通知音
電源ON	"Power ON"
ペアリングモード	"Pairing"
Bluetooth 機器とのペアリング完了	"Connected"
Bluetooth 機器とのペアリング切断	"Disconnected"
電源OFF	"Power OFF"
充電残量が少ない	"Battery low"

13. 故障かな?と思ったら

症状	処置
電源が入らない	イヤホン本体を充電してください。
充電ができない	イヤホンが充電ケースに正しくセットされているか確認してください。 必ず付属のTYPE-C USBケーブルを使用してください。 パソコンの電源が入っているか確認してください。 パソコンが省電力モードではないことを確認してください。 付属のTYPE-C USBケーブルが充電ケースおよびパソコンにしっかり接続されているか確認してください。
ペアリングができない	本機および相手機器をなるべく近づけてからペアリングを行ってください。
Bluetooth 接続ができない	本機L側、R側および相手機器の電源が入っているか確認してください。 相手機器の Bluetooth 機能がONになっているか確認してください。
音が出ない (音楽再生時)	本機L側、R側および相手機器の電源が入っているか確認してください。 相手機器とA2DPで Bluetooth 接続がされているか確認してください。 相手機器の音楽が再生されているか確認してください。 相手機器側の音量が小さくないか確認してください。
R側から音が出ない (音楽再生時)	本機R側の電源が入っているか確認してください。 解決しない場合はリセットと本体L側とR側の再ペアリングをしてください。リセットと再ペアリングの方法はP.5<リセットのしかた>以降をご参照ください。
音がひずむ (音楽再生時)	周囲に2.4 GHz帯の電磁波を発生する機器 (電子レンジ、無線など) や遮蔽物がないか確認してください。
ハンズフリー操作ができない	相手機器とHFPまたはHSPで Bluetooth 接続がされているか確認してください。 相手機器とA2DPで Bluetooth 接続がされている場合、機器の仕様によっては切り換えが必要です。
通信距離が短い、音が途切れる	周囲に2.4 GHz帯の電磁波を発生する機器 (電子レンジ、無線など) や遮蔽物がないか確認してください。
音声アシスト機能が使用できない	相手側 Bluetooth 機器の設定が正しくされているかご確認ください。
ハウリングがする (ピーと音がなる)	本機のマイク穴を指などでふさいでいないかご確認ください。本機を手で持った際などはハウリングが起りやすい状態となります。

主な仕様

通信方式	Bluetooth 標準規格 Ver. 5.0
出力	Bluetooth 標準規格 Power Class 2
最大通信距離	見通し距離 約10 m *1
使用周波数帯域	2.4 GHz帯 (2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz) *2
変調方式	FHSS
対応Bluetoothプロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
対応CODEC	SBC、AAC
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
電池持続時間	
・ヘッドホン本体	連続通信 最大5時間 (音楽再生時間含む)
充電時間	
・ヘッドホン本体	約1.5時間
・充電ケース	約1.5時間
電源	DC3.7 V 内蔵充電式リチウムイオン電池
質量	
・ヘッドホン本体 (L,R各)	6 g
・充電ケース	49 g

ヘッドホン

型式	密閉型ダイナミック
使用ユニット	φ6 mm
再生周波数帯域	20 Hz ~ 20 000 Hz

マイク

型式	MEMS
指向特性	全指向性
周波数特性	100 Hz ~ 10 000 Hz

付属品

TYPE-C USBケーブル	1
イヤホンチップ(シリコン)	S, L ×2
保証書	1
取扱説明書	1

*1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

*2 本製品は2.4 GHz帯の電波を使用しています。他の2.4 GHz帯を使用する無線機器、電子レンジなどの干渉により音声が途切れる場合があります。

※ 上記の仕様および外観は改良のために予告なく変更することがあります。

ライセンスと商標について

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
- Android、Google および Google Play は、Google LLC の商標です。
- iPhone および Siri は米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

お客様相談窓口・修理窓口

修理、取り付け、他の製品との接続などに関しては、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

*番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします。

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただく場合がございますので、発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

ご購入／操作・取扱のお問い合わせや、故障か判断に迷われたとき、修理（送付修理）のご依頼、お問い合わせは

■受付窓口 オンキヨーオーディオコールセンター

■電話番号 050-3161-9555

■受付時間 10:00 ~ 18:00
(土・日・祝日・弊社の定める休日を除きます)

サポートのご案内、オンラインユーザー登録(*3)

<https://www.jp.onkyo.com/support/audiovisual/index.htm>

<https://www3.jp.onkyo.com/main/customer/index.aspx>

*3 ユーザーの皆様により快適な製品サービスを提供するために、オンラインユーザー登録を行っています。

Eメールによる製品サポート情報や製品関連情報のお届け、ONKYO DIRECT オンラインショップからの情報メールのご案内などのサービスをご利用いただくことができます。

(ご登録いただいたお客様情報は、弊社のサービス以外の目的で使用されることはありません)

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書（レシート、納品書、受注メールなど）が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：ワイヤレスステレオヘッドホン
- 型番：IE-FBK
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

令和2年9月現在

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

©2020 オンキヨー&パイオニア株式会社 禁無断転載

オンキヨー & パイオニア株式会社

〒130-0015 東京都墨田区横網1丁目10番5号

IE-FBK <IE-FBK-Ja-001>